

質 疑 要 旨

盛本芳久議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 「持続可能な開発目標」SDGsについて</p> <p>(1) 本県の長期構想は、SDGsの目標と相通じるものが多くあり、国内外への発信という点において、SDGsと対応をさせて本県の将来構想を語ることが必要と考えるが、所見を聞く。</p> <p>(2) SDGs未来都市に県内から珠洲市と白山市が選ばれているが、県全体へのSDGsの理念拡大と、市町の協力体制構築に向けた県の役割について、所見を聞く。</p>	<p>知 事 企画振興部長</p>
<p>2 志賀原子力発電所の現状認識と原子力防災訓練について</p> <p>(1) 志賀原子力発電所の新規制基準適合性審査の現状認識を聞く。また、北陸電力にどのような対応をしているのか。</p> <p>(2) 原子力防災訓練は、燃料プールの冷却が不能になったとの想定のもと、参加施設と人数を増やした訓練が必要と考えるが、今後の防災訓練の内容と規模について聞く。</p>	<p>知 事 危機管理監</p>
<p>3 プラスチックごみについて</p> <p>(1) 中国へ廃プラスチックの輸出ができない今、処理すべき日本の廃プラスチックはどのような状態にあるのか、県内の廃プラスチックの処理状況と併せて聞く。</p> <p>(2) 環境省の「プラスチック資源循環戦略案」の目指すべき方向と、本県の取り組みを聞く。</p>	<p>知 事 生活環境部長</p>
<p>4 種子法廃止後の農業研究について</p> <p>(1) 種子法廃止に伴う種子生産への懸念に対する見解を聞く。</p> <p>(2) 今後の本県の農業研究、品種改良に対する姿勢と方針を聞く。</p>	<p>知 事 農林水産部長</p>
<p>5 障害者雇用の水増し問題について</p> <p>(1) 本県では、ガイドラインに従わず、どのような方法で不正に算入を行っていたのか。また、いつからこのような取り扱いをしていたのか。</p> <p>(2) 昨年6月時点における県内各自治体の障害者雇用の状況を聞く。</p>	<p>知 事 総務部長</p>

この質疑要旨は12月6日午後3時15分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>(3) 本県における障害者雇用の不正の根本原因をどのように認識しているのか。</p> <p>(4) 今後の本県における障害者採用方針と目標、法定雇用率達成の見通しを聞く。</p>	
<p>6 幼児教育無償化について</p> <p>(1) 幼児教育無償化の費用負担と財源確保について、県の基本的な考えを聞く。</p> <p>(2) 幼児教育無償化の更なる前進など、今後の子育て支援の充実に向け、県としてどのような施策を充実させていくのか。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>
<p>7 子ども食堂への支援について</p> <p>(1) 本年2月定例会で、子ども食堂の先進事例を勉強するとの答弁があったが、子ども食堂の現状認識を聞く。</p> <p>(2) 子ども食堂の運営については、場所の確保などに支援を求める声が多く、全国知事会を通じて国に要望しているが、国の動きはどうか、県としての検討経過、今後の支援策と併せて聞く。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>
<p>8 出入国管理法の改正と外国人労働者の受け入れについて</p> <p>(1) 本県で働く外国人労働者、高度人材、技能実習生、留学生の人数を聞く。</p> <p>(2) 法改正で新設される在留資格「特定技能1号・2号」は、どのような業種でどの程度の規模で労働者が増加すると推定されるのか。また、いつどのような形で受け入れることになるのか。</p> <p>(3) 県内での技能実習制度における法令違反等の実態について、技能実習生からの労働相談の件数と、国の指導が行われた件数を聞く。</p> <p>(4) 技能実習制度は、改正法でも存続し、新たな在留資格制度の前段として位置づけられるが、現在ある技能実習制度の問題や課題解決のため、制度の適正化や実習生の保護方策を国に強く求めていくべきではないか。</p>	<p>知 事 商工労働部長 観光戦略推進部長</p>

質 疑 要 旨

盛本芳久議員 No.3

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>(5) 外国人労働者の受入体制の充実と多文化共生社会の実現に向けた総合的な取り組みが必要だが、どのように進めていくのか。</p> <p>9 観光における北陸連携について 北陸新幹線の敦賀開業や小松・香港定期便化を控え、観光分野における広域連携が益々求められるが、北陸連携の実績と総括、今後の課題と広域連携のビジョンについて聞く。</p> <p>10 白タク行為とライドシェアについて (1) 本県でも急増する外国人観光客を対象とした白タクの進出、拡大が懸念されるが、実態と取締状況、今後の対策を聞く。 (2) いわゆる「白タクの合法化」とも言えるライドシェアの動きについて、どのように捉えているのか。また、観光、交通事業者の意見集約と国への意見反映が必要と考えるが、今後の対応を聞く。</p> <p>11 教育条件整備と教職員の多忙化解消について (1) 県立高校にも早急にエアコンを設置すべきと考えるが、PTAや同窓会による設置、維持費負担の実態がある中、保護者の不公平感が出ないように、どのような計画で整備を進めていくのか。 (2) 教職員の多忙化改善の取り組みは、校務分掌のアウトソーシングも含めた大胆な対策が必要と考えるが、取り組みの現状認識と今後の課題を聞く。 (3) 多忙化改善に向けてはICT環境の充実が求められるが、県内の状況は改善されているのか。また、県立学校でも整備を促進し、整備率の低い市町にも指導を行うべきと考えるが、所見を聞く。 (4) 多忙化改善に最も必要なのは教職員数であり、来年度に向け、大幅な定数増に向けた知事及び教育長の決意を聞く。</p>	<p></p> <p>知 事 観光戦略推進部長</p> <p>知 事 企画振興部長 警察本部長</p> <p>知 事 教 育 長</p>

この質疑要旨は12月6日午後3時15分に取りまとめたものです。